

地域密着型金融の取組事例について

タイトル：北秋田きのご組合設立に向けた取組 JA名：JAあきた北央（秋田県）

1 動機 (経緯)	<p>当地域は秋田県北部に位置し、稲作を中心とした農業が行われています。冬季間は農地が雪に覆われ、農家の所得向上のためには冬季間の収入をいかに確保できるかが最大の課題と認識しています。</p> <p>上記課題を解決するため、JAあきた北央のしいたけ部会が中心となり、しいたけ用菌床の製造・販売を主たる事業に掲げ、地域における菌床しいたけ栽培の振興を図り、低コストで良質なしいたけ栽培を行うことで、農家の所得向上に貢献することを目的に北秋田きのご組合を設立することにしました。</p>
2 概要	<p>JAあきた北央のしいたけ部会は、平成17年度に原木によるしいたけ栽培から菌床栽培に切り替え、冬季間の農業収入の確保に向けて良質なしいたけ栽培を開始しました。</p> <p>平成23年度の北秋田きのご組合設立に向けて、当JA施設（米倉庫）を借りて菌床製造施設を導入しました。施設導入に際し、事業費用約68百万円について、補助事業の活用とJAプロパー資金の借入（約40百万円）により所要の資金調達を行いました。</p>
3 成果 (効果)	<p>平成23年度は菌床製造個数60,000個、売上高16,200千円の実績となりました。 (菌床単価：270円/個)</p>
4 今後の 予定（課題）	<p>地域農業振興のため、菌床しいたけ栽培をする農家を増やし農業所得の向上に努めて、栽培用ハウス購入に対して低利の資金を提供してまいります。</p>